

令和5年度（2023年度）行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	環境施設課長 下澤 敦	
環境-09	廃棄物処理施策推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境施設課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	ごみ減量対策課、環境センター
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	新たな資源化の推進及び施設整備等を図り、安定的なごみ処理体制を構築するため。
効果	安定的なごみ処理体制を構築し、循環型社会が形成される。

2 令和4年度(2022年度)に実施した事業の概要

<p>・「将来のごみ処理体制についての方針」を踏まえた、第3次一般廃棄物処理基本計画に基づき、新たな資源化の推進及び施設整備等を図り、安定的なごみ処理体制の構築を進めた。</p>

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	廃棄物処理施策推進事務	アドバイザー報償費・視察旅費	—	— / —	—	—	—
02	名越中継施設整備事業	審査会報酬、既存施設改修工事費、委託費	名越中継施設整備に向けた進捗状況(%)	— / —	—	40	—
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/	660		
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	44,624 / 52,334	4,373		
			事業費の合計(千円)	44,624 / 52,994	4,373		
		人件費(千円)		19,750	21,820		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等		0.1	2.6	2.8		
会計年度任用職員		0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	廃棄物処理施策推進事務	審議会運営は定型的業務であるため指標設定は行わない。	令和6年度末の名越クリーンセンター稼働停止を見据え、広域化実施計画の実現により安定的かつ効率的なごみ処理体制の構築に寄与する。	—
02	名越中継施設整備事業	名越中継施設整備に関する必要な調査及び関連施設の修繕を実施した。	令和6年度末の名越クリーンセンター稼働停止を見据え、広域化実施計画の実現により安定的かつ効率的なごみ処理体制の構築に寄与する。	事業進捗に合わせ周辺住民及び関係機関等との協議を十分に行う必要がある。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か		△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
協働実施済の場合のパートナー			

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
ごみ処理基本計画及び広域化実施計画に基づく安定的なごみ処理体制の構築に向けて、名越中継施設整備に係る事業者選定準備、関係機関等との協議を着実に進める。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	名越中継施設整備に向けた進捗状況						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
2市1町ごみ処理広域化実施計画の実現に向けて名越中継施設整備の進捗を評価するため(施工事業者契約締結:100%)	目標値			40	80	100	100	
	実績値			20				
	達成率			50.0%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--